


はあ〜てい

5月1日号
2014

「はあ〜てい」は英語で“心の温かい”、“真心のこもった”という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。

 この広報紙には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。



楽しく歌って みんな笑顔に

～ふれあいきいきサロン交流会～



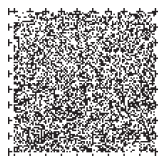
社協の齋藤会長も、各地区のサロン活動に時々参加しています。



3月13日(木)、七尾苑を会場に、高齢者サロン『昭和つくしの会』、『山の平なごみの会』などが中心になって、“楽しく歌ってみんな笑顔に”をテーマに「ふれあいきいきサロン交流会」を開催しました。

当日は、サロン会員のほか、自治会の方など約30名が参加。会の初めに講師の松谷喜代美さんの指導で、手足や口の筋肉をほぐして発声練習を終るといよいよ本番です。『春よ来い』『おぼろ月夜』『知床旅情』など、誰もが知っている懐かしい童謡や唱歌を伴奏に合わせてみんなで楽しみながら歌いました。

大きな声を出せば、日頃のストレスも解消して気分も爽快。笑顔が笑顔を呼び、会場一杯に元気が溢れる交流会になりました。



発行：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会
編集：益田市社会福祉協議会広報運営委員会

〒698-0036 益田市須子町3-1
TEL:0856-22-7256 FAX:0856-23-4177
社協e-mail:masuda_h@masuda-shakyou.or.jp

益田市社協

検索

平成26年度益田市社会福祉協議会事業 基本方針及び一般会計予算

去る3月26日、評議員会において、新年度の事業及び予算が承認されました。

市民の皆様や関係機関・団体と連携・協働して、福祉社会づくりに努めてまいりますので、ご支援をよろしくお願いします。

<基本方針>

社会福祉を取り巻く状況は、少子高齢化や家族形態の多様化、コミュニティ能力の低下などが進む中、公的な制度だけでは解決しきれない様々な問題が発生しています。また、厳しい雇用情勢や社会状況は、生活困窮者など格差の拡大や社会的孤立を増加させています。

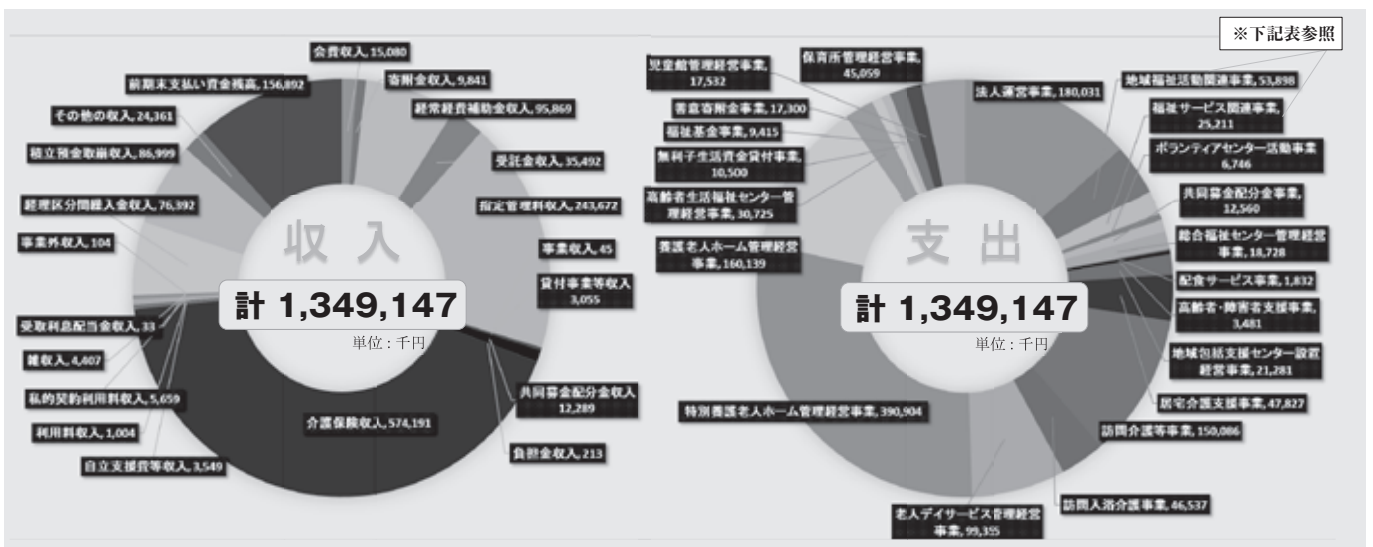
一方、平成23年3月に発生した東日本大震災、さらに平成25年7～8月の島根県西部大雨災害では、改めて人と人との絆や地域コミュニティの重要性が認識されてきています。

そうしたことから、平成25年に市と一体となって策定した第2期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づき、地域住民、ボランティア、民生委員、行政、地区社協、関係団体等との連携強化、地域福祉活動の協働推進を図りながら、福祉的援助を必要とする人々が社会から疎外されることなく、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりをより一層進めていきます。

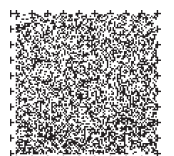
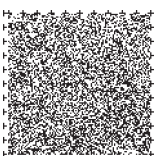
事業の重点目標

1. 福祉のまちづくりの推進
2. 社会基盤の強化
3. 在宅・施設サービスの推進
4. ボランティア・市民活動の推進
5. 福祉教育、及び啓発・交流の推進
6. 総合的な相談・支援体制の整備
7. 役職員研修の充実

平成26年度 一般会計予算



地域福祉関連事業(内訳)	単位(千円)	福祉サービス関連事業(内訳)	単位(千円)
福祉活動専門員活動事業	22,854	ふれあい福祉相談事業	3,692
地域福祉活動推進事業	21,634	マイクロバス運行事業	7,366
ふれあいのまちづくり事業	9,410	生活福祉資金貸付事業	3,323
		福祉サービス利用援助事業	10,830



「平成25年度ふれあいネットワークまちづくり研修会」

～支え合いマップづくりで地域の福祉力アップ～
平成26年2月21日 益田市総合福祉センター

支え合いマップによる「ご近所福祉の推進」について学ぶため、木原孝久氏（住民流福祉総合研究所所長）を講師に招いて研修会を開催しました。当日は、福祉関係者など約160名が参加し、木原氏の講演と戸田自治会の実践発表に熱心に耳を傾けていました。

■なぜ支え合いマップなのか？

支え合いマップを作ることによって、近所での困りごとや、課題解決のためのヒントが見えてきます。また住み慣れた地域で、いつまでも心豊かに暮らすには、どのようなまちづくりが必要かを考えるきっかけとなります。

■ご近所での助け合いが始まるには？

あるアンケートでは、95%の人が「困っている人がいたら助ける」と答えています。一方で困ったときに、他人に「助けて」と言えない人が多く、また相手のプライバシーに立ち入ることを躊躇して近所の困りごとに気づかないこともあります。こうした壁を取り払うことが、ご近所での助け合いが始まるために必要になってきます。



「プライバシーを気にして、他人に関することを躊躇しては、助け合いは始まらない」と語る木原講師



戸田自治会からは「支え合いマップ」による福祉活動実践について発表がありました。

善意の輪

（平成26年2月1日～平成26年3月31日）

敬称略

【香典返し】

- 村木ささの（喜阿弥町） 十五万円
- （故）永岡 節子（久々茂町） 金一封
- 世良 文一（飯田町） 金一封
- 大島 尚子（小浜町） 金一封
- （故）中島アイ子（戸田町） 金一封
- 寺田 康憲（土田町） 金一封
- （故）永山 勝正（横田町） 金一封
- 安野 光城（高津六丁目） 金一封
- 宅野委津恵（東町） 金一封
- 大谷 稔（駅前町） 金一封
- 秋吉 順三（乙吉町） 金一封
- （故）田村 清子（高津二丁目） 金一封
- 大賀 研介（中須町） 金一封
- （故）齋藤 五男（水分町） 金一封
- （故）坂本 久喜（向横田町） 金一封
- （故）領家 一如（駅前町） 金一封
- 齋藤 浩文（下波田町） 金一封
- 橋本 安司（小浜町） 金一封
- （故）須藤 隆子（飯田町） 金一封
- （故）草野イサヨ（東町） 金一封
- （故）松崎恵美子（遠田町） 金一封
- （故）武平 鉄夫（山口県山口市） 金一封
- （故）永戸 亨二（下種町） 金一封
- （故）三浦 穂男（奈良県御所市） 金一封
- （故）升野 浩二（飯浦町） 金一封
- （故）永岡 清美（東町） 金一封
- 匿名 金一封
- （故）城市 淳（白上町） 金一封
- （故）石川 廉（横田町） 金一封
- （故）宮藤 浪子（高津五丁目） 金一封
- （故）平川 寅市（中吉田町） 金一封

- （故）田中 毅志（西平原町） 金一封
- 渡辺 政人（須子町） 金一封
- （故）佐々木照子（木部町） 金一封

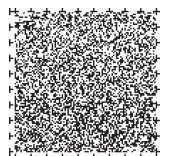
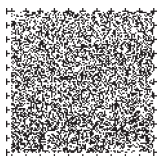
- 皆元 栄（あけぼの東町） 金一封
- 永岡 権二（乙子町） 金一封
- 熊谷 勝信（美濃地町） 金一封
- 岩崎 弘士（津田町） 金一封
- （故）宇山 昭円（中島町） 金一封
- 右田 正和（美都町宇津川） 金一封
- 齋藤 義伸（東町） 金一封
- （故）竹内 勝彦（匹見町匹見） 金一封
- 【見舞返し】
- 河野 百子（匹見町道川） 金一封
- 【一般寄付】
- （株）タイビック（常盤町） 十万三千七百六十二円

- 匿名 八十四万四千七百四十四円
- 福島 光子（飯浦町） 金一封
- カラオケサークル（赤城町） 金一封
- 島根県西部福祉事務所OB会 五万六千四百三十八円

- 匹見町原爆被爆者協議会 五万二千三十六円
- 匿名 十四万二千三十六円

皆様から寄せられました善意の寄付金は、ご意志に沿って、地域福祉活動事業費や福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

誠にありがとうございます。





美都地域特集!!

益田市社会福祉協議会美都支所

住 所：益田市美都町都茂1805-3

電 話：0856 (52) 2392

FAX：0856 (52) 2716

益田市社会福祉協議会美都支所は、美都地域のほぼ中心に位置し、益田市社会福祉協議会の支所として、また本会が益田市から指定管理を受けている美都地域内の高齢者福祉施設をはじめ、地域の多様な機関や団体等と共に福祉の推進をしています。

この特集では、美都地域で地域福祉にご尽力いただいている地域の団体や、事業の内のいくつかをご紹介します。

地域で支える輸送事業

日常生活での移動に困っている方を対象に活動されている、地域住民の助け合いによる輸送事業をご紹介します。

この輸送事業は、地域の方が運転者講習を受け、運転ボランティアとして地区内において車両を運行する、地域のみんで支え合う事業です。

二川自治会輸送活動 柚子り愛

車両愛称『柚子り愛号』



二川自治会では、平成23年8月より事業を開始し、高齢者の方に大変喜ばれています。

《お問い合わせ先》 二川地区振興センター
住所：美都町宇津川口377-3 電話：0856(52)2241

都茂地区連合自治会輸送活動

車両愛称『ささえ愛号』



都茂地区では、本年3月よりこの事業を開始しました。

《お問い合わせ先》 都茂地区振興センター
住所：美都町都茂1692 電話：0856(52)2295

各種サロン活動



小学生と一緒に認知症について勉強しました

ふれあい・いきいきサロン

高齢者の「つどいの場」として、現在益田市市内83カ所で取り組まれているサロン活動ですが、美都地域においても、地域の世話人さんが中心となって、現在6カ所で取り組んでいます。

都茂地区の「P. P. K. いきいきクラブ」は特別養護老人ホーム美寿苑と協力し、建物の一面を利用して、サロン活動を行っています。地域の方のみならず、施設をご利用の方も自由に参加ができるもので、地域と施設の橋渡しの場にもなっています。

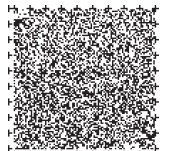
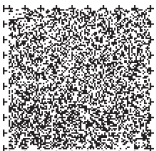
ふれあい子育てサロン

「ふれあい・子育てサロン」とは、地域住民が協働して、子育てを楽しみ仲間づくりを行う活動で、市内11カ所において活動が展開されています。

美都地域では、益田市社会福祉協議会美都支所の事業として、共同募金の助成を受け、美都地域子育てサロンを開設しています。ボランティアさんの協力を得て、月2回、ふれあいホールみと・東仙道地区振興センターを拠点として実施しています。その様子は、社協ホームページのふれあい通信に掲載しています。



※益田市社会福祉協議会では、「ふれあい・いきいきサロン」「ふれあい子育てサロン」活動を支援するため、助成を行っております。ご希望の方は、益田市社会福祉協議会及び美都支所・匹見支所までお気軽にお問い合わせください。



Vol.
3

市内ボランティアグループ紹介

わたしたちのまちのボランティア

さくら草の会

代表：山鳥和子
設立：平成5年4月
会員数：7名

「私にも、私たちでも何かできるかもしれない」「社会の一員として役に立って、自分でも満足できる活動をしたい」との思いで有志が集まり、『さくら草の会』を立ち上げました。

自分のできることを、できる時にするのがボランティアですが、「少々の犠牲を払わないとできない」を胸に、現在7名で活動しています。

活動内容は様々で、毎日の便利さと引き換えに大切なものを失わないよう、地道な活動であっても、微力であっても、続けていくべきだと思っています。「地域のお助けマン」を自負する私たちは、県指定文化財・金谷城山桜祭りへの出店等を行っています。

これからも、「あんたが主役・あんたの出番」「私がやらなきゃ誰がやる」と、自分に言い聞かせ、同じやるなら楽しみながら、何でもやってみよう!と、人と人とのつながりを大切に、地域に関わった末永い活動を続けていくつもりです。



ボランティアで広がる縁の輪

平成26年3月21日 益田市総合福祉センター
～益田市ボランティアセンター研修会～



災害時に被災者の復興支援活動を行う、「災害ボランティア」について学ぶため、昨夏被災された萩市から山本真琴さん（萩市社協）を講師に招いて研修会を開催しました。

災害時には、「災害ボランティアセンター」が開設され、内外から多くのボランティアが参加します。年齢や体力に応じ、またそれぞれの技能や知識・経験を活かして、様々な場面での協力ができることや、ボランティア活動を通じて、人と人との縁の輪が広がり、復興後の地域づくりに繋がっていくことなどを、大変わかりやすくお話いただきました。

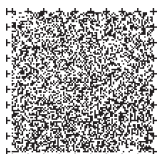
今回の研修会で得られた成果を大切にして、益田市における「災害ボランティア活動」の体制づくりを進めていきます。

ふれあい福祉相談所のご案内 5月・6月の相談日

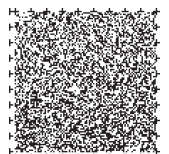
場所：益田市総合福祉センター

	無料法律相談 13:00～15:00 (要予約)	ふれあい福祉相談 10:00～15:00	老人母子相談 10:00～15:00
5月	9日(金)	9日(金)	9日(金)・23日(金)
6月	13日(金)	13日(金)	13日(金)・27日(金)

上記相談日以外でも専任相談員がお受けします。



お問い合わせ・予約
益田市社会福祉協議会
(月～金 8:30～17:30) TEL 22-7256



平成26年度 益田市立総合福祉センター老人・母子講座のご案内

総合福祉センターでは、老人・母子福祉事業の一環として、お年寄りの方に教養を高め、明るく豊かな老後を過ごすため、また母親と児童の相互理解を深め、福祉の向上を図るため老人・母子講座を開催しております。今年度は下記のとおり行いますので、是非ご参加下さい。

対象は、老人（60才以上）及び母子・寡婦の方です。

益田市社会福祉協議会

講座名	社交ダンス教室 (初心者・中級者)	囲碁教室	習字教室	手編教室	園芸教室	いきいき健康教室 (筋肉トレーニング)
期 間	5月16日～3月13日	6月14日～11月8日	5月13日～3月10日	5月10日～3月14日	5月16日～3月20日	5月22日～3月26日
期 日	毎月第2金曜日 (初回のみ第3金曜日)	毎月第2,4土曜日	毎月第2火曜日 (8月のみ第1火曜日)	毎月第2土曜日	毎月第3金曜日 (8月のみ第4金曜日)	毎月第4木曜日
時 間	13:30～15:30	9:00～11:00	13:30～15:30	10:00～12:00	13:30～15:30	10:00～12:00
回 数	11回	11回	11回	11回	11回	11回
講 師	増野栄一	田原俊平	城市霊泉	中田登志枝	城市政知	美原愛子
募集人数	40名程度	20名程度	20名程度	20名程度	20名程度	15名程度
受講料	無 料	無 料	無 料 (但し、実費必要)	無 料 (但し、実費必要)	無 料 (但し、実費必要)	無 料
内 容 その他	・初心者の方大歓迎。 ・毎月第4金曜日は自主的に実施。 ・ハイヒール等の靴は使用禁止です。	・初心者の方大歓迎。	・習字用具等は各自でご持参下さい。	・初心者の方大歓迎。 ・編み棒、かぎ針は各自でご持参下さい。	・材料代等は各自でご負担して下さい。	・膝・腰・股関節など痛みのある方、足腰に自信のない方大歓迎。 ・運動のできる格好でご参加下さい。開催日程(予定)
開催日程 (予定)	5月16日・11月14日 6月13日・12月12日 7月11日・1月9日 8月8日・2月13日 9月12日・3月13日 10月10日	6月14日・9月13日 6月28日・9月27日 7月12日・10月11日 7月26日・10月25日 8月9日・11月8日 8月23日	5月13日・11月11日 6月10日・12月9日 7月8日・1月13日 8月5日・2月10日 9月9日・3月10日 10月14日	5月10日・11月8日 6月14日・12月13日 7月12日・1月10日 8月9日・2月14日 9月13日・3月14日 10月11日	5月16日・11月21日 6月20日・12月19日 7月18日・1月16日 8月22日・2月20日 9月19日・3月20日 10月17日	5月22日・11月27日 6月26日・12月25日 7月24日・1月22日 8月28日・2月26日 9月25日・3月26日 10月23日
会 場	大集会室	研修室	研修室	会議室B	ふれあい広場	娯楽教室

益田市総合福祉センター

※ 期日や会場は原則的であり、変更の場合があります。

※ 申し込みは、平成26年5月7日(水)より電話でのみ受付をしますので、総合福祉センター(TEL 22-7256-23-4177)までお願い致します。また、定員になりしだい締め切りさせて頂きます事をご了承下さい。詳しいことは、益田市社会福祉協議会(総合福祉センター)へお問い合わせ下さい。平成26年5月7日以前の受付、土・日曜日の受付は一切行いませんのでご了承下さい。

※ 当講座内での物品の販売、センター講座以外への勧誘行為は禁止します。そのような行為を発見・確認しましたら当講座を辞めて頂く場合もありますのでご理解下さい。

益田市社会福祉協議会 地域福祉課
平成26年6月2日(月)
問合せ先
☎ 22-7256

【締め切り】
【問合せ先】
30万円を限度とします。
詳しい内容は、益田市社会福祉協議会までお問合せ下さい。

- 【助成金額】
助成の対象は事業の経費総額の三分の二以内とし、
- 【助成対象事業】
- ① 社会福祉活動に関する啓発、指導者等の養成訓練事業
 - ② 在宅福祉等普及向上の事業
 - ③ 健康生きがいづくり事業
 - ④ ボランティア等活動活性化事業
 - ⑤ その他、地域福祉の向上に関する事業

益田市社会福祉協議会では、先駆的な地域福祉事業に対し、市民の皆様からお寄せいただいた赤い羽根共同募金、並びに社協会費、善意寄附金等を原資とする助成を行っています。

平成26年度地域福祉活動助成事業の募集

～お母さん幸せですか～

第32回“全国親の会”神々の国 島根・益田大会

6月8日(日) 午前10時30分～午後4時15分

島根県芸術文化センター「グラントワ」いわみ芸術劇場
(益田市有明町5-15)

不登校・ひきこもり・ニート・家庭内暴力・摂食障害など子どもの問題や、子育てがなんとなく上手くいかない・・・嫁姑のこと・自分の生き方について考えてみたい方、ご一緒しませんか。

- 第1部 体験談と質疑応答
第2部 自律訓練法とグループディスカッション
講師 金盛浦子(東京心理教育研究所所長・臨床心理士)
参加費 無料(申込制) 保育あり(第1部のみ、申込制、定員あり)

申込み・問い合わせ：
(火～土曜日10時30分～15時)
NPO法人SEPY(セピィ) 倶楽部
TEL03-3942-5006
FAX03-5940-4030

